

第60回岡山県総合バスケットボール選手権大会

日 時	2014年10月5日(日)	男子	決 勝
会場名	桃太郎アリーナ	(C)コート	

ナカシマプロペラ 66	{	21	—	19	}	57	ファイサズ岡山
		12	—	10			
		19	—	11			
		14	—	17			

審判名	主 審	副 審	
-----	-----	-----	--

選手名	背番号	得点	3ポイント	2ポイント	フリースロー	ファウル	選手名	背番号	得点	3ポイント	2ポイント	フリースロー	ファウル
中島 直幸	1	0					岡寄 務	0	4		1	2	1
横山 龍	2	0				5	佐藤 朋信	1	15	1	4	4	3
佐宮 光徳	3	0				1	大橋 雄太	2	0				
山口 時生	6	0				1	清水 将太	4	0				
佐宮 大吾	7	0					中西 祥一朗	6	6		2	2	3
ソウシエルノアティ	9	9		4	1	3	谷口 裕貴	7	0				
奥山 拓志	11	2		1		1	栗井 洋充	8	0				3
山野 俊介	14	19	2	6	1	2	田上 靖浩	9	3		1	1	
杉本 智広	15	7	1	1	2	1	三村 健夫	10	0				1
岡田 陸人	18	16	2	3	4	1	辻本 雅敏	11	6		2	2	3
小橋 一正	21	0					木村 晋輔	13	9	1	3		
伊藤 実希	31	6		2	2	1	谷口 巨将	14	6		3		2
藤高 竜一	45	7		2	3		石原 健一郎	18	0				1
竹林 克也	51	0					大嶋 将之	26	0				
赤木 雅道	91	0					芳上 卓	31	0				
							中島 聡	39	8	2	1		4
合 計		66	15	38	13	16	合 計		57	12	34	11	21

戦 評

1Q 両チームともマンツーマンディフェンスでスタート。ナカシマはドライブからチャンスをつかみ、ファイサズはミドルシュートから攻撃を組み立てる。序盤ターンオーバーをお互い繰り返すも、ナカシマは#31のシュートで先制する。ファイサズも#13、#14らのシュートで得点を重ね、接戦の展開となる。残り4分、ナカシマ#9はインサイドプレーでリードを広げようとするが、ファイサズは#39の3P、#14のジャンプシュートで追いつく。残り1分ファイサズ#0がフリースローを2本決め、1点リードを奪うも、ナカシマ#18の3Pで逆転に成功し、ナカシマ21-19ファイサズで1Q終了。

2Q ファイサズは#6のフリースローで差を縮めようとするが、ナカシマは#18の連続得点でリードを広げる。中盤、ファイサズは積極的に攻め込むが、厳しいシュートチェックに苦しみ、一方ナカシマもファイサズの連携のとれたディフェンスにシュートが決まらず、残り2分までは一進一退の状態となる。その後、ナカシマ#11のシュートが決まった後は、ファイサズも#9、#1のシュートで追いつけるが、ナカシマ#14がブザービーターを決めナカシマ33-29ファイサズで前半を折り返す。

3Q 開始直後、ファイサズは#1の連続得点で同点とする。ナカシマは#9を中心に攻めようとするが、ファイサズのマークに苦しむ。しかしナカシマは残り7分、#14が3Pを含めて立て続けに得点を決め、42-33とリードを一気に広げ、ファイサズがタイムアウトを取る。その後、ファイサズは落ち着きを取り戻し、#13の3Pなどで差を縮めようとするが、ナカシマも#15の3Pで応戦、残り1分にはナカシマ#18の3P、レイアップが決まりさらにリードを広げ、ナカシマ52-40ファイサズで3Q終了。

4Q ナカシマ#14のジャンプシュートで始まる。お互い厳しいディフェンスのため、なかなかシュートが決まらない時間が長くなる。残り6分、ナカシマが#9のインサイドで連続得点を決め、勢いをつける。ファイサズは懸命のディフェンスで耐えながら、#39が3P、#13がミドルを決めるなど、必死で追いつく。残り1分、ファイサズはオールコートディフェンスでナカシマを苦しめ、#1、#11らがフリースロー、#1が3Pを決める。一方ナカシマは落ち着いてボールコントロールし、ファウルゲームから得たフリースローを落ち着いて決めてリードをキープし、力と力がぶつかり合った激戦を制し、ナカシマ66-57ファイサズで4年連続6回目の優勝を飾った。